

例会報告：2016年4月12日（晴れ） 第1930回 通常例会

◆ 会員誕生日

小川 和夫さん（4月2日）

◆ 結婚記念日

鈴木 友徳さん（4月1日）  
小川 和夫さん（4月1日）  
渡部 重海さん（4月8日）  
櫻井 康二さん（4月8日）  
仲 徳子さん（4月11日）  
荻野 善明さん（4月15日）



杉崎 勝成さん…40周年記念事業、皆様の御協力により無事に終了いたしました。有難う御座いました。又4月9、10日2780地区、米山奨学生、カウンセラー、会長のオリエンテーションが小田原の地で行われました。今期の米山奨学生は24名お世話いたします。「うめこ」で全体会議、サンサンヒルズに宿泊しました。皆さん優秀な方ばかりです。今後が楽しみです。そして、米山への御協力宜しくお願い致します。

40周年実行委員会…最終打合せの後の懇親会で皆様からいただいたニコニコです。あとわずかですが、ニコニコ箱頑張ってください。

40周年2次会出席者一同…40周年2次会の残金を少々。

大木 清さん…40周年記念式典及び祝賀会が無事に、また盛大に開催され、かつ大成功に終わったことと、関係各位に敬意を表します。

櫻井 康二さん・村瀬 雅實さん…40周年の成功を祝して。

◆ 奥様誕生日

露木 博美様（4月2日）  
大川 美保様（4月10日）

◆ ニコニコ箱

櫻井 康二 委員長

	ニコニコ箱	累計	目標
4月12日分	71,040	767,656	1,300,000

◆ 40周年特別ニコニコ

井上 久嘉様（東京中央RC）…創立40周年おめでとうございます。亡き父が特別代表でした。当時毎夜のように小社にて打合を熱心に行っていたのを思い出します。更なるクラブの発展を祈念しスマイル！※4/5に事務局に直接届けていただきました。

◆ ゲスト

柴崎様（小田原北RC）…先日40周年記念の際、庄野真代さんのCDご購入の際のおつりをニコニコします。

◆ 家族

久保田 登志男様…40周年記念式典おめでとうございます。式典にお招きいただきましてありがとうございます。副会長の代理で韓国大邱松林RCの皆様の歓迎会とお見送りをさせていただきます。

◆ 会員誕生日

小川 和夫さん…結婚記念日、誕生日の記念品ありがとうございます。

◆ 結婚記念日

鈴木 友徳さん…①結婚記念を祝っていただきありがとうございます。②40周年祝賀会ありがとうございます。

渡部 重海さん…40周年記念式典に於いて、記念品を頂き、又本日は結婚記念日の記念品を頂き、重ねてお礼申し上げます。

荻野 善明さん…結婚記念日のお祝いありがとうございます。

櫻井 康二さん…結婚記念日のお祝いありがとうございます。

仲 徳子さん…ありがとうございます。

◆ 奥様誕生日

露木 清勝さん…家内の誕生日にきれいなお花をありがとうございます。

大川 裕さん…女房の誕生祝いありがとうございます。

◆ その他

執行部一同…皆様の御協力の元、40周年記念式典、無事終える事ができました。感謝致します。実行委員会の皆様、長期間にわたり準備をしていただき、ありがとうございます。

■ ■ 今後のメークアップ情報 ■ ■  
-2016年4月-

- ▶20日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
- ▶21日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
- ▶22日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30  
「クラブ協議会/地区研修協議会報告」
- ▶22日(金) 足柄 創立記念家族親睦夜間例会18:30~
- ▶25日(月) 小田原 報徳会館 12:30  
「卓話：地域経済分析システム(RESAS)とその活用について(仮題) /内閣府大臣官房総務課企画官 早田豪様(予定)」
- ▶26日(火) 箱根
- ▶27日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
- ▶28日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
- ▶29日(金) 湯河原 祝日休会

【小田原城北ロータリー・クラブ】  
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9  
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377  
URL：http://www.odawarajhrc.jp  
Mail：info@odawarajhrc.jp  
例会場：小田原卸センター内会議室  
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日  
例会：毎週火曜日 12:30~13:30  
クラブ会報委員会  
監修：柳井 涉  
編集長：小林 和彦  
コピーライター：小林 和彦  
デザイン：小林 和彦  
フィールド：大川 久弥

会員数：40名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780  
ODAWARA JOHOKU R.C.  
2015-2016  
WEEKLY BULLETIN



世界へのプレゼントになろう

世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

本日の例会：通常例会（第1931回）

会場：小田原卸センター内会議室  
日時：2016年4月19日 12:30~13:30  
司会：須藤 公司 副幹事

12:30	開会点鐘：木村 頼弘 会長 ロータリーソング斉唱 「手に手つないで」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告/出席報告/委員会報告 同好会報告/ニコニコ箱 閉会点鐘：木村 頼弘 会長
13:00	クラブ協議会（地区協議会報告） 幹事部門：櫻井康二 クラブ奉仕部門：柳井 涉 会員増強維持・R家族部門：志澤 昌彦 新会員部門：鈴木 竜哉

■地区活動目標の概要

1.奉仕活動	ポリオ撲滅最優先 R財団地区補助金事業推進
2.公共イメージ	IM クラブ周年記念事業 ロータリーデーなどイメージ向上の機会を創る
3.寄付	財団 : 一人当たり 200ドル以上 米山奨学 : 一人当たり 20,000円以上 ポリオ撲滅 : 一人当たり 40ドル以上 ベネファクター：1クラブ 1名以上 ロータリーカードの普及
4.会員増強	10パーセント 衛生クラブを立ち上げる。
5.中核的価値観	ロータリーを学び、また学ぶ機会として、例会・IM・地区委員会・地区セミナー・地区大会・国際大会の出席率を高める。
6.オンラインツール	My Rotary ロータリークラブセントラルにクラブ情報入力
7.特別月間	戦略計画とR財団6つの重点分野を学び実践する機会として理解する。



【会長】木村 頼弘  
【副会長】久保田 知子  
【幹事】柳井 涉  
【副幹事】須藤 公司  
【会場監督】西 寛

楽しさと感動を呼ぶ一年にしよう

【今後の例会・卓話スケジュール】

- 4月26日(火) 通常例会 12:30  
担当：齋藤会員  
卓話：
- 5月3日(火) 休会
- 5月10日(火) 通常例会 12:30  
クラブフォーラム（青少年奉仕）
- 5月17日(火) 通常例会 12:30  
担当：齋藤会員  
卓話：
- 5月24日(火) 施設見学会  
横須賀軍港めぐりと横浜屋形船  
10:40 小田原駅西口  
11:00~11:45 卸売団地(例会)  
15:00~15:45 横須賀軍港巡り  
16:45~19:15 屋形船すずよし(懇親会)  
20:40 小田原駅  
21:10 例会場
- 5月31日(火) 通常例会 12:30  
担当：大谷会員  
卓話：NPO法人アール・ド・ヴィーブル  
理事長 荻原 美由紀様

## 例会報告：2016年4月12日（晴れ） 第1930回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室  
日時：2016年4月12日 12：30～13：30

### ◆ 会長挨拶

「組織論2・6・2」

木村 頼弘 会長

4月2日の記念式典では、皆様のお蔭をもって無事に終わる事ができました。実行委員会の皆さまをはじめ、会員の方々、そして会員のご家族の皆様皆様のご協力のもと盛大に滞り無く終わる事が出来ました事、お礼を申し上げます。記念式典も無事に終わり、次は自分たちのクラブの事を皆で真剣に考えなければいけない時期だと思っています。そこで今日は少しでも参考になればと思います。組織の法則についてお話ししたいと思います。

組織または集団には様々な法則があります。その法則の中に「2・6・2」という法則があります。これについてお話しします。この「2・6・2」という数字ですが、これは組織を構成している人達の割合を示しています。具体的に言うと組織の中には「20%の優秀な人」「60%の普通の人」「20%の何もしない人」このような割合で組織の人員が構成されていると言われていいます。また、昆虫のアリの社会でも「20%の良く働くアリ」「60%のたまには働くアリ」そして「20%の働かないアリ」の3種類に分類され、私達の組織と同じ割合で構成されています。この法則の興味深い所は、何かの原因でこの割合が崩れても、自然にこの2・6・2の割合に再構成されるという事です。例えば、「優秀な人」が何人かいなくなっても、「普通の人」または「何もしない人」から「優秀な人」が現れ20%に戻してくれるのです。逆に「何もしない人」が居なくなっても「普通の人」から「何もしない人」が生まれて来るという事です。そしてもう一つのこの法則で最も興味深いのは、「20%の何もしない人」「20%の働かないアリ」の存在が非常に重要だという事です。「何もしない」「働かない」と聞くと役に立たない怠け者のようなイメージがありますが、実は「何もしない」「働かない」振りをしているそうです。これは北海道大学のアリの集団の研究チームが出した結果ですが、アリの集団には「働かないアリ」が必ず2割ほどいるそうです。この存在が非常に謎でしたが、その重要性が明らかになりました。

「良く働くアリ」が疲れて動けなくなった時、この「働かないアリ」が真っ先に活動を始め「良く働くアリ」になるそうです。「働かないアリ」の存在は、実は「働きたくても働けない」存在であり 集団を絶滅から防ぐための重要な予備軍であると言う事が分かったそうです。アリはこの3つの役割を上手にバランス良く機能させ、集団を維持する巧妙な仕組みを作っているのです。人間の組織もアリの社会でも、「優秀な者ばかり」でも、また「何もしない者だけ」でも集団は壊滅します。法則のように働き方がバラけた集団の方、長く存続すると言われていいます。当クラブでも自分が「2・6・2」どこに属しているかを先ず、見極める事が大事です。

「優秀な人」は、たまには休む事も大切です。「普通の人」は、働く時と休む時の区別を明確にして行動する事です。そして「何もしない人」は、重要な予備軍です。いつでも動けるように準備を怠らない事が大切です。アリと人間は違いますが、“予測不可能な出来事”がいつ起きるか分からりません。そんな場面に直面しても、常にそれに対処できる「余力」が必要だという事です。アリの集団のメカニズムから学ぶように、誰かに支持を受けなくても、効率よく機能するクラブを目指して行きたいと思っております。

### ◆ 幹事報告



柳井 渉 幹事

- 1)本日第10回理事会が開催されました。
- 2)4月6日小田原北ロータリークラブの創立50周年記念式典祝賀会に木村会長と私で出席をしてきました。友好クラブの締結のため相馬ロータリークラブのメンバーは来られていて、相馬ロータリークラブ蓬田会長のあいさつの中で東日本大震災時の当クラブの支援の紹介をしていただきました。
- 3) 4月17日地区研修協議会においてEND POLIO NOW[歴史に1ページを刻もう]キャンペーンで1500ドル以上の寄付をしたことにより感謝状が贈られます。
- 4) 創立40周年記念式典に来られたウランバートルRCの江口さんがモンゴル大使館において「北極星賞」贈呈式中村会員、杉崎会員、本多会員、小川会員が出席をしてきました。
- 5) 菊地会員から退会届が提出され本日の理事会において承認されました。それに伴い理事の欠員に須藤副幹事が理事として承認されました。
- 6) 五人グループをまだ開催されてないグループはをお願いします。
- 7) 今月のロータリーレートは1ドル116円です。

### ◆ 出席報告

守屋 善男 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
4月12日	40(37)	34	0	91.89%
4月2日	40(40)	36	0	90.00%
3月22日	41(41)	33	2	87.5%

【欠席者】3名  
一寸木 芳行、石坂 弘之、上田 博和  
【今回MU】なし  
【前回MU】増加なし  
【前々回MU】増加なし

### ◆ 委員会報告

石崎 ガバナー補佐

4/7にガバナー補佐会議があり、城北RCの40周年が素晴らしかったと来賓の皆さまからお褒めの言葉をいただきました。実行委員長を始め委員の皆さま、執行部の皆さま、会員の皆さま、大変ご苦勞様でした。その会議の中で2016年2月末時点の出席報告と会員数が配られ、城北は2月末時点で会員数がマイナス5になっています。この後も2名減で実質はマイナス7となります。どうしたのか？とガバナーからも質問されました。年度末までに3～4名の入会をやり遂げたいと思います。残り2ヶ月間、是非ご協力をお願いします。田中ガバナーも会員数を増やすために色々工夫をされています。一人一人が真剣に新会員を入れようと取り組んでいただきたいと思います。

40周年実行委員会 杉崎 委員長

40周年は皆様のお蔭で無事に行うことができました。ありがとうございます。先日、地区の米山奨学委員会へ出席した時に、ガバナー、ノミニー、エレクトの方々から本当に良かったとお褒めいただきました。今後45周年、50周年に向けて反省の意味を含めて、4/26（火）に打ち上げを行います。場所と時間は次週お知らせしますので、是非予定に入れておいてください。

ロータリー財団 志澤 委員長

年次寄付・ポリオプラス寄付のお願いです。後期の会費と一緒に10,000円を寄付金として納付していただいております。他に15,000円を来週例会の時にお願いします。城北RCは財団に対して積極的に貢献していますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

次年度 櫻井 幹事

次年度の各委員長・プロジェクトリーダーへ、活動計画書作成のお願いです。期日は4/26厳守で櫻井まで提出してください。そして例会終了後、第1回の準備理事会を行います。4/17には地区協議会が行われます。出席対象者の方は、前回お渡しした案内状をご確認ください。

職業奉仕委員会 辻村 委員長

施設見学会を5/24に予定しております。軍港めぐりと横浜屋形船のコースです。是非ご参加ください。

### ◆ 卓話

「投資教育について」

みずほ証券 投資教育推進室 浜崎 祐一郎 様

12月に続き、再度お招きに与りありがとうございます。また創立40周年おめでとうございます。今回は金融経済・投資教育の取組みにつき概要をお伝えしましたが、今日は具体的な話をお届けしたいと思います。地域のお子様・若い方を思い浮かべながら聞いていただければと思います。

金融経済・投資教育へのニーズの高まり

さて、前回の卓話以降も多くの皆様のご依頼をいただき、様々な場所に行き研修や授業を行ってまいりました。金融や投資への教育のニーズが高まっていると感じます。変わったところではプロ野球選手会。球団側ではなく、選手会という組合が研修を行う場で選手にお話しをさせていただく機会をいただきました。昨年秋には若手選手向けの研修の一環で、さらに今年になってからは全選手向けに、1軍、2軍のキャンプ地24ヶ所でマネープランのお話しをしてきました。これまでそういう機会がなかったようで若手もスター選手も真剣に聞いてくれて、関心の高さに驚きました。さらに小学校や女子大でも授業を行いました。小学生にも教えてほしいとの声も増えている一方、経済系の学部が一切無い女子大でも依頼がありました。予備知識が無い状態だったのでわかりやすく金融や投資の話を説明する工夫が必要でしたが、学生の関心は高く、社会に出る全ての人に金融経済・投資教育が必要だと感じた次第です。

生活スキルを高める～大学生への金融詐欺の事例から

まず、投資を行う、行わないに関わらず、金融や投資の知識があったほうが良いという話をさせていただきます。資料から大学生が遭遇した金融詐欺の事例を紹介します。

知り合いを通じ、「DVDを買ってその通りやれば儲かる投資システム」を勧誘された例です。金額は50～60万くらい、消費者金融を勧められ、購入を勧誘されるわけですが、他の人を勧誘すると10万円あげるというマルチ商法的な話です。実際、DVDを買ってやってみても儲からない。損失を取り返したいがために自らが勧誘する側に回ることもなります。次の事例は、学生、社会人に加えて高齢者も被害にあっている未公開株の儲け話です。詐欺を手掛けているグループはセールストークをマニュアル化し、巧妙にアプローチしてきます。証券会社は未公開株の勧誘は禁止しています。実態が無い会社が勧誘して資金を振り込ませまますので、一度払い込むとその業者を追うこともできません。

「行動経済学」という人の心理に着目した学問によれば、人間には「損失回避性」があり同じ利益と損失では損に敏感に反応するものだと言われています。また、目先の利益にとらわれて長期的にみると自分に不利益な行動を選択してしまう「近視眼的行動」ということも指摘されています。人間にそのような心理的な癖があるからこそ、金融詐欺等から身を守り、生活スキルを高めるために金融や投資の話は知っておいて良いと思えます。

社会人への金融経済・投資教育

では、大学生、社会人になる前に中学・高校で関連する知識を得る必要があることとなりますが、以前お話ししたように金融経済・投資教育への取組みは拡大中ですが、教育現場では「時間が足りない」「教えられる先生が少ない」というのが現状です。

一方、社会人若年層の資産形成状況は厳しくなっていると思われます。現在、日本人の家計金融資産は1,700兆円を超えと言われていますが、二人以上世帯の平均資産額は中央値では400万円です。貯金が無い世帯も3割います。単身世帯では、中央値が20万で、貯金が無い世帯が半分近くになってしまいます。これらの世代は若年層が多いと思われ、早くから、どう蓄えるかをしっかり教えずにはなりません。そのためにも、お勤めの人であれば企業が用意している『活用できる制度』（貯め始めると引き出しづらい制度）の活用が大切でしょう。それがなければ20歳以上の国民が使える制度としてNISA（少額投資非課税制度）があります。昨今、社員が将来受け取る年金を確約する制度は少なくなってきていると思われる、社員の方が自立して資産形成に取り組まれるよう社員教育の重要性が増してきています。福利厚生制度の拡充も兼ねて、教育研修機会を増やしている企業も増えています。弊社では、社会貢献として新入社員向け、ベテラン向け等の金融経済・投資教育の研修を行っていますのでご活用ください。先週は広島、来月は奈良に伺います。小田原ですと近くて助かります。社員向けの研修、また地域の学校でもニーズがございましたら、お気軽に弊社小田原支店長の鈴木までお声かけいただければ幸いです。ご清聴ありがとうございました。

